

2023 年 3 月 15 日

医療関係者 各位

東 和 薬 品 株 式 会 社
大阪府門真市新橋町 2 番 11 号

視線追跡型 VR デバイス「認知機能セルフチェッカー」 新潟医療福祉大学および FOVE 社との共同研究を開始

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび弊社は、視線追跡型 VR デバイス『認知機能セルフチェッカー』に関して、MCI（軽度認知障害）のリスク評価を目的とした共同研究を、新潟医療福祉大学（所在地：新潟県新潟市、学長：西澤 正豊）および株式会社 FOVE（本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：唐木 信太郎、以下：FOVE）と開始することをお知らせいたします。

謹白

記

■目的

『認知機能セルフチェッカー』の信頼性と妥当性を検証するとともに、MCI のリスク評価について検証するために本共同研究を実施します。過去の研究を通じ、本測定法は既存検査法である「MMSE」「MoCA-J」のスコアと高い相関性が確認されており、簡便に認知機能の状態評価が行えるサービスとして有用であることが示唆されております。より多くの研究データを蓄積し、信頼性と妥当性を検証することで、評価アルゴリズムの精度の向上が期待されます。

■本共同研究の概要

- ・研究期間：2023 年 1 月 1 日～12 月 31 日
- ・研究目的：認知機能セルフチェッカーによる軽度認知障害のリスク評価に関する研究
- ・研究実施者

研究実施責任者：児玉 直樹 教授（新潟医療福祉大学 医療技術学部）

研究協力者：浦上 克哉 教授（鳥取大学 医学部）

研究技術サポート：株式会社 FOVE

研究推進サポート：東和薬品株式会社

協力医療機関：総合リハビリテーションセンターみどり病院

川瀬神経内科クリニック

辻内科循環器科歯科クリニック

■今後の展開

新潟医療福祉大学、FOVE 及び弊社は、より多くの被験者を対象とする多施設共同研究を計画しております。より多くの研究データを得ることで、研究の質が高まるとともに本測定法の精度の向上を目指してまいります。

弊社は共同研究を通じて、MCI のリスク評価のエビデンスの確立を目指すとともに、「認知機能セルフチェッカー」の普及を通じて、社会課題の解決に寄与してまいります。

◆「認知機能セルフチェッカー」について

視線追跡型 VR デバイス内で提示される複数の認知課題に対して、回答時の利用者の視線の動きを分析することで、客観的に認知機能进行评估するサービスです。

詳細は、以下 URL をご参照ください。

<https://towayakuhin.co.jp/healthcare/lp/selfchecker/>

本機器は、認知症の診断を行うものではなく、また医療機器ではありません。

以上